

令和6年第12回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和6年12月13日 午後4時00分
- 2 閉会 令和6年12月13日 午後5時05分
- 3 会議に出席した委員
伊藤正徳教育長、田中早苗委員、太田孝雄委員、高崎佐智江委員、田中智和委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員

教育部長	増田直道
教育総務課長	川口 崇
学校教育課長	峠 尚良
生涯学習課長	山田達也
スポーツ課長	鈴木雅也
文化財課長	天野敏規
図書館長	是住久美子
教育総務課長補佐兼係長	木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 令和6年12月13日（金）

午後4時00分

場 所 市役所南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

（1）教育委員連絡報告事項

（2）田原市議会第4回定例会一般質問について

（3）図書館への寄附について

4 その他

教育長

開 会 午後4時00分

それでは、失礼をいたします。皆さん、こんにちは。

本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださり、誠にありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。

定足数に達しておりますので、令和6年田原市教育委員会第12回定例会は成立をいたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご両名を指名させていただきますので、よろしく願いをいたします。

教育長

それでは議題に先立って教育長報告を、私からさせていただきますので、2ページをお開きください。

土日の行事がたくさん入っておりましたので、多くなっておりますが、抜粋をしながら説明していきたいと思っております。

まず、11月20日と11月21日、2日連続で、教育長、自分への表敬訪問がありました。1つがサーフィンで、1つが田原市少年少女発明クラブ。この2件に関しては、中日新聞がとても意欲的に2日にわたって取り上げてくれましたので、かなり大きく出て、田原市としてはよかったかなと思っております。

なお、21日の田原市少年少女発明クラブの全国大会が明日ありますので、自分も何とか常滑まで行こうかなと思っております。ただ、朝が早いので不安ではありますけれども。ということで、また次回にその内容は報告をいたします。

それから11月24日、ロゲイニング IN AKABANEというのが、赤羽根市民センター周辺で行われました。このロゲイニングというのは、オリエンテーリングと似てはいるのですが、オリエンテーリングは、全チームが同じポイントを順番に回るということで、時間がかかるというか、その点は難点なのですが、ロゲイニングは自分のチームでどのポイントを巡るかを自分で考えていく。だから回らないポイントがあってもよいということで、非常に画期的だと思えました。70名ほどが参加していたということなのですが、非常に皆さん喜んでおりました。

それから11月25日、三河部都市・町村教育長会議が蒲郡で開催されたわけなのですが、その講演で部活動の地域移行についてということでした。そこで名誉教授の市野先生という方が講演をされたのですが、実際、お年を召した方は、基本は今の形についていけない。言われていたのは、子どもには体育というか運動させなくては駄

目だと。だけどそのためにはやるしかない。これは少し違うのではないかなと思いつながら聞いていたのですけれども今の形にはなかなか合わない講演であったかなと。言い換えれば、それほど部活動の地域移行はまだ途中であって、どこも先進と言えるところはない。そのような感じを思ったところです。

それから次の11月26日から校長一次面談が、12月4日にかけて行われました。ここでは、校長の現時点での学校の運営の評価と、それから課題、それから来年度の人事に向けて、自分の学校はこうでこうで、校長ですので当然、残したい人、出したい人、いろいろなところを自分ら、特に課長に向けて言っていたのですけれども、結局これを参考にいわゆる来年度の人事に向けての話をしました。こちらとしてはできるだけ校長の意向を重視しつつ、だけどこちらとしても田原市の未来像を描かないといけませんので、やはり、ある人材で上手に回していく、そういうことを考えて、これから人事をやっていききたいなどと思います。

それから、11月29日に田原市消防職員の意見発表会がありまして、審査講評を行わせていただきました。さすがに消防職員で規律正しさというのは半端ないです。あの姿は一回、子どもたち、特に小中学生には見せてあげたいなど、そのような動きでした。それから発表についても、僕も基本的には原稿を見ないのですけれども、見ずに原稿用紙4枚を言い切るといふ、あの姿は非常に素晴らしいなど思いました。

それから11月30日に、表浜自然ふれあいフェスティバルということで、海岸清掃を行いました。自分の会場のところは東部中学校が多かったのでそう思ったのですけれども、東部中学校区の小学校の子どもたちもたくさん来ていて、主力は谷ノ口の子たちだったのですけれども、校長にはお礼を言っておいたのですが、子どもがいると、特にお年寄りたちの受けは全然違うので、またこのように子どもたちをたくさん出せるような、そんな企画があればいいなど、そのように思っております。

それから、12月1日、第9回田原リレーマラソンですが、これは、実行委員会が運営して動かしているのですけれども、1つの区間が1.5キロという非常に短い形ですので、非常にたくさんのチーム、80チームを超えていたかと思うのですけれども、すごく盛り上がったいい大会であったと思います。

それから、同日に午後から田原人権ファンクションの委員会の講演会がありまして、NPO法人陽和というところの渋谷理事長が講演をされたのですけれども、子どもとの向き合い方、困難を抱えた背景を知るということで、不登校であるとか、ひきこもりであるとか、やは

りそういう人達に対する接し方はどうなのかと。この方は民間ですが、非常にそういう事例をたくさん持っていて、参考になる、これは非常にいい講演であったかなと思います。ただ、こちらとしても、もう少し学校に周知すべきだったかなと、後になって反省しましたので、この方を呼ぶといいよというのは、各校長には伝えたいなと思います。

裏ページにいきまして、12月7日、愛知万博メモリアル第17回の市町村対抗駅伝があって、これについてはこの後、スポーツ課長からより詳しい内容があるかなと思いますが、順位は6位で、去年が20位、その前が26位、令和2年、令和3年がなくて、令和元年が13位でしたので、久々によく頑張った。監督はもっともっと上だというような思いもあったらしいですが、まだまだ伸びしろがあるということで、今後は楽しみなそういうチームだったと思います。

それから、12月9日に成章高校の弓道部が全国大会に行くということで表敬訪問をしました。高校も全国にこうやって行っていただけると、田原市の子どもたちも、ああそうか、あそこに行くところということが出来るのだというのがよく分かるので、今後もぜひたくさん来てほしいなど、そのように思った期間です。

それでは、これで私からの報告は終わりますが、自分の報告、報告していなかったところでも、ざっと見て何か質問があったらよろしくお願いします。

田中早苗委員

お願いします。13日の田原市青少年問題協議会、子ども若者支援地域協議会はどのようなものだったか教えてください。

教育長

これは基本的に田原市長がトップに立って、3高校、1中学校、1小学校、その他、各保護司さんであるとか、文化協会の代表者などの有識者が出席しております。その方たちが出席されており、これからの冬休みに向けて、子どもたちの生徒指導をどうしていくかだとか、それから不登校だとかひきこもりの現状、これについては生涯学習課の担当ですが、子ども若者対策のこと、それからそれぞれ各学校、3高校と、小中1校の現状はどうかということを発表してもらって、それにたいして質問であるとかそういうものを受けておったという、こういう形です。なかなか不登校やひきこもりに対しては、まだまだ頑張らなくてはいけないなど、そういうふうな共通意識を持った、そういう大会でした。

その他どうでしょう。よろしいですかね。はい。

質問もないようですので、教育長報告を終わらせていただきますでは、これより議題に入ります。

教育長

初めに、議案第25号 令和6年度一般会計教育費補正予算についてを議題といたします。

学校教育課長

事務局の説明をお願いいたします。

学校教育課でございます。6ページを御覧ください。

事業の概要でございますように、人事勧告に伴い、会計年度任用職員の報酬単価の改正がございましたので、その増額分が不足となりますので、その分を補正で計上させていただきます。会計年度任用職員の報酬、それから会計年度任用職員の期末手当でございます。

どういった方かといいますと、6ページでございますように、学校司書、それから用務員、それから8ページへいきまして、国際交流AL T、10ページにまいりまして、教育相談員と教育サポートセンターの方々の分、それから12ページでございますように、スクールソーシャルワーカー、それから地域団体コーディネーター等の分になっております。

以上です。

生涯学習課長

続きまして、生涯学習課からご説明申し上げます。13ページをお開きください。

13ページから24ページまでが生涯学習課の補正予算となっております。理由は、先ほど学校教育課の峠課長がご説明させていただき、人事院勧告に伴う報酬の引き上げ、それによつての不足分の増額でございます。

13ページ、14ページにつきましては、これは児童クラブ運営事業でございます。主任指導員、指導員、あるいは夏季の指導員、この方たちの給与改定に伴うものでございます。

15ページ、16ページの中で、16ページについては、これは江比間野外活動センターの日勤と夜勤の者の給与増額のものでございます。

次に17ページ、18ページになりますが、18ページのほうを御覧いただきたいと思ひます。市民館運営事業におけます、市民館主事20人の増額分でございます。

続いて、19ページ、20ページにわたりまして、田原文化会館運営事業としまして、20ページのほうに主な内容で書かせていただきましたが、受付、設備管理、夜間の管理、そういった方の給与の増額分、不足分でございます。

続いて、21ページ、22ページでは、22ページのほうを御覧いただきますと、これにつきましても渥美運動公園運営事業におけるも受付、夜間の管理に携わる方の不足分でございます。

23ページ、24ページにつきましては、今度は中央公園のスポーツ施設運営事業としまして、夜間の管理人の給与の不足分でございます。

以上でございます。

文化財課長

続きまして、25ページから文化財課の会計年度任用職員の補正予算です。理由は先ほどの説明と同じ理由になります。

26ページ御覧いただきますと、埋蔵文化財調査事業でありまして、主な内容1にあります、月額埋蔵文化財を整理していただいている4名の方の報酬、それから期末勤勉手当の増額分となっております。

続いて、28ページを御覧いただきまして、博物館運営事業でありまして、博物館で受付等を担当しております会計年度の月額の2名、それから資料整理を担当して行っていただいております、月額の1名、それから翻刻等の資料調査員、研究員で、時給で働いていただいております3名の方の報酬、それから企画展の補助員の関係の方の増額分、期末勤勉手当、月額3名の方の増額分になります。

29、30ページ。30ページの吉胡貝塚公園運営事業につきましては、時給で4名の方が働いていただいておりますので、その方々の報酬の増額分になります。

以上です。

図書館課長

続きまして、図書館の報告をさせていただきます。

32ページを御覧ください。先ほど来と同じ、会計年度任用職員の報酬の改定がありましたので、増額となるものです。

会計年度任用職員、図書館で働いている者は、主務司書、それから司書、それから事務という立場の職員がおりまして、それらの支給分となります。

以上です。

教育総務課長

最後、戻りまして、4ページを御覧ください。

以上のような説明させていただいた内容でございますが、議案第25号 令和6年度一般会計教育費補正予算については別添によるものとする。令和6年12月13日提出、教育長名ということで提案させていただきます。

教育長

それでは、一般会計補正予算について、事務局の説明が終わりましたが、ご質問等ございますか。よろしいですか。

では、ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第25号 令和6年度一般会計教育費補正予算については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第25号につきましては、原案どおり可決といたしました。

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員会の皆さま方からの連絡、報告事項を順次お願いをいたします。

まず、田中早苗委員からよろしくお願ひいたします。

お願いします。

私からは4件、報告いたします。

10月27日と、11月23日に川瀬巴水展を見に行ってきました。版画というと、小学校の図工の単色刷りしか経験のない息子と行ったのですが、30～40版をずらさず刷るにはどうするのかという、そういう技術面のほうが気になったそうです。作品は大正から昭和と時系列に展示されていたので、時代の移ろいと巴水さんの技術の向上が分かりました。全体的に青っぽい絵が多いなと思ったのですが、雨や雪の表現があって、晴ればかりが美しいわけではないのだなということと、天候も含めた日本の四季の美しさを伝えたかったのかなと感じました。

2点目です。11月24日、第2回ストリートフェスティバル福江に参加した児童と保護者の方から感想を聞いてきました。第1回に参加した小学校6年生の児童は、3 on 3が最高に楽しくて、またやりたいよとにこにこでした。バスケットを指導する保護者からは、子どもたちが輝ける機会をもらえてうれしいと言っていました。また、キッチンカーのごみ箱が分かりにくかったから、主催者側でもごみ箱の用意があるといいなと言っていました。普段は屋内運動場で練習していますが、福江公園にゴールだけ設置してあるのですけれども、ゴールだけではなく、3オン3のできるコート、ライン付きがあるといいなと言っていました。3オン3の入場には司会者がコールをしていて、プロの試合のようで、観客も盛り上がっていました。ダンスもあって、音響が2キロぐらい離れた我が家でも聞こえたのですが、日没ぐらいには静かになったので、イベントが20時までだと思うのですけれども、夜間というか日没後の配慮はされているなと感じました。

3件目です。12月1日、教育長さんの報告にもありました、NPO法人、陽和、理事長の渋谷幸靖さんによる講演を聞いてきました。この子供というのは、普通の子供ではなく、発達障害があったり、非行に走ったりする、生きづらさや困難を抱えている子供たちのことで、この団体の素晴らしいなと思った点は、そういう先天的な発達障害という理由や、後天的な障害、非行などを、隔てることなく受け入れるところが、行政にはできないところかなと感じました。渋谷さんに出会えた子供たちは、不幸せがきっかけですけれども、出会えて幸せだなと思います。本当に親身になって助けてくれる人だなと感じました。この渋谷さんは、自身も困難だった時期があり、それを乗り越え、当事者であったからこそその行いかなと感じます。渋谷さんに出会った子供たちの多くが、愛着がうまく育まれておらず、それゆえの問題行動が起きるようです。愛着は子どもが生まれてから、日々親が与えることで育まれるのですが、私は3人の子供にうまく伝えられていたか、少し怖くなりました。核家族が増えることによって、嫁姑問題

は少なくなっても、子供たちには親身になってくれる大人たちが減って、困難を抱える子供が増えてしまうのかなと感じました。

4件目です。12月7日に愛知駅伝をテレビ観戦しました。福江中学校の生徒や息子の友達2名が出場しましたので、例年以上に応援に熱が入りました。この大会は親子で出場であったり、夫婦であったり、兄弟であったり、実業団で普段はチームメイトなのに、別のチームとして戦ったりと、他にはない面白さがあると思います。田原市の選手でなくても、母校出身であったりすると応援したくなったり、結果が全てではないですけれども、とてもいい大会だなと思いました。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございます。

では、太田委員よろしく申し上げます。

太田孝雄委員

はい、お願いします。

私は3つのイベントに見学あるいは参加等してきました。

11月22日、県民の日学校ホリデーとして、吉胡貝塚資料館のほうに無料開放、秋のイベントの見学をさせていただきました。天候もよく、風はありましたけれども、体験広場では、いろいろな貝のアクセサリ作りだとか、焚火だとか、縄文ファッションだとか、いろいろ工夫されているイベントを行っておりました。伊勢湾フェリーやサンテパークたはらとのコラボのペーパークラフトだとか工作なんかもありまして、キッチンカーも出て、参加されていた方々は、こども園、保育園、小学校低学年ぐらいの子供と親御さんであったように思います。大変楽しそうにやっていたのが印象的で。この日は県民の日学校ホリデーということで、各学校もお休みということでしたけれども、私の孫の親は仕事があったものですから、昼は私が昼食を一緒に取りまして、こういった学校ホリデーを有効に活用している家庭もあるかと思えますけれども、そうでないところもあるものですから、こういった県民の日というものが、学校だけではなくて、企業だとか、官公庁もちろん含めてですけれども、休日になると家庭でもっと有意義に過ごせるのではないかなということを感じました。

それから2点目は、11月24日の田原市の家庭の日コンサートと、第42回田原混声合唱団の定期演奏会です。これは今までも参加をさせていただきましたけれども、このコンサートのいいところは、田原の混声合唱団の発表もあるのですけれども、田原市楽友協会ジュニア合唱教室の、本当に子供たちの歌声、それから、うたの会るんるん、これは高齢の方々ですけれども、こういった方々、まさに家庭の日にふさわしいような大変ほのぼのとした温かいコンサートだったというふうに思います。田原混声合唱団には、何名か私は面識のある方がいるのですけれども、今年、若い方が3名入ったということで、かなり混声合唱団も高齢化していたのですけれども、こういった新しい風が入っ

たということで、大変喜んでみえました。

それから最後に皆さん方、先ほど来ありましたけれども、人権ファンクション委員会の講演会ですが、大変私も素晴らしい講演会だったと思いました。何が一番よかったかというと、やはり渋谷理事長が、自分の体験、大変幼少期から厳しい環境の中で育ってきたという経験を通して、いろいろな学びであったり、いろいろな意欲であったり、そういったモチベーションを持って生きてみえるなどということを感じましたので、そういった思いを困っている子供たちに何とかしようというような、そういう意欲を感じました。一般的にこういった不登校だとか非行だとかということを研究してみえる方もあるのですが、実践をいろいろ経験されている方、事例をいろいろ持っている方の講演というのは、大変迫力があって、伝わってくるものがあるなど感じました。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございます。

では、次に高崎委員よろしくお願いします。

高崎佐智江委員

はい。失礼します。

私、日常の業務に追われておりまして、土日は仕事があるものから、今回は出席させていただくことができなかつたのですが、その中で公的役だったり、自分が出向いた中で感じたことをお話させていただきたいと思います。

先ほどから渋谷先生のお話が出ておりましたけれども、機会がありまして、KDDIの会長さんの講演を聞きにいきました。この中で、有料だったのですけれども、なぜ有料かというと、この集まったお金が虐待を受けているお子さんたちに寄附をされるということで、名だたる大企業の社長さんたちがそれをやっていらっしゃるということで、有料で参加をさせていただきました。特にこの間、いろいろ思いましたのは、本日もここに出向く際に、子ども会と一緒にさせていただいた方が退職をしているのですが、率先して川の周りの落ち葉を集めていらっしゃって、ありがとうございますというようにお声掛けをさせていただいたのですが、はっといたしまして。地域貢献ということを考えながら、自分の足元を固めているかという反省をしつつ、こちらに参りました。先ほどのひきこもりとか子ども対策とか、いろいろおっしゃいますけれども、実際にお預かりした方がご自分の目的を達成されると、会社に出て来られなくなり、きちんとした認識を持たないまま、社会福祉協議会の方にいろいろなことをお尋ねしたり、それからフリースクールの校長先生にいろいろお話を伺ったり、そうした手探りをしながらお預かりをしていたのですが、一雇用主として考えますと、本当に一般の方と同じように働いていただくという雇用条件で最初は雇用したのですから、その中でいろいろ働くところ

を探していらっしゃる方であったり、社会福祉協議会の方の目線であったり、それから雇用主の目線であったり、非常に今回学ぶことを多々いたしました。ですので、本当に今日の落ち葉を拾ってくださっている方、然りですけれども、言うことは簡単ですが、実際に自分がそういうお子さんと接してみて、お子さんというか成人はしていらっしゃるのですけれども、本当に難しい問題だなということをつくづく感じました。

次に、私の所属している団体で昨日、絵葉書コンクールの審査をさせていただき、またともに泉出身の税務署の副所長のお話を伺う機会がありました。田原市も積極的に参加してくださる学校もあり、私が一番、自分自身が変わったのは、これは教育委員をさせていただいたおかげだと思っているのですけれども、当初、最初の頃は選ぶ基準が、やはり目を引くものであったり、うまいとか、これはきれいだなとか、そういった目線でお選びしていたように思うのですが、最近はそのではなくて、心のこもったもの、本人が一生懸命やっていると感じるもの、そういったものを選択しているように私は思います。あと、これから発表になるのですけれども、田原市も楽しみだなと思って拝見しておりました。

次に、先ほどから話が出ています愛知駅伝なのですけれども、たまたま息子と同じ学年の清田真央さんという方が出場されていたと思うのですが、この方のお話を、以前、所属している団体で、豊橋のぶらっとに増田明美さんがいらしゃったときにお話を伺った際に、清田真央さんのご両親もいらしゃっていて、清田真央さんという方と、鈴木亜由子さんという方を、増田明美さんが名指しておっしゃっていたのですね。そのときに、やはり豊橋市というのは出ていたのですけれども、清田真央さんとお勤め先のスズキというところは出ていましたけれども、田原市というところは出ていなかったのですね。だから、これはすごい残念だなと思ひまして、先ほどから教育長がおっしゃっているように、田原はこれが強いのだ。こういう人がいるのだ。でも最近では市外の方とお会いしますと、田原市は有名人たくさんいますよねと。だから、私そういうときに申し上げるのですけれども、この教育環境とか豊かな財政という怒られてしまうかもしれませんが、農産物のことをお伝えしたりとか、トヨタ自動車のレクサスとかセンチュリーのお話をしたり、財政も豊かだし、のびのびと教育環境もできているからというようなことをお伝えしているようにしております。

あと、最後になりますが、私事で大変恐縮でございますが、私より一つ上なので、退職されて2年目の先生が杉山にいらっしゃるのですけれども、この方、高松の出身で、退職をされてからアレルギーの子供たちのためにとって、米粉パンのお店を週末、月に2回オープン

教育長
田中智和委員

されていまして、たまたま私の毎年、出展している書を置かせてほしいということで、先生のものが多いのですけれども、その先生も以前は泉小学校だったりとか、本当に紙も全てプレゼントで、本当のボランティアで豊橋市から来てくださっていた先生なのですね。私もまだ、随分以前になりますけれども、泉小学校にもお手伝いにお邪魔させていただきました。そんな経緯もありまして、杉山の米粉パンのお店に私の書が飾らせていただいているということと、それとこれから出させていたどうかかなと思っているのですけれども、以前伺った高松の素晴らしい児童さんの俳句を書かせてもらって、これからまたお持ちしようかなと思っております。

最後、私事で恐縮でございますが、高松出身の先生でございました。

以上でございます。

では最後に、田中智和委員よろしく申し上げます。

はい。失礼します。

私からは、3点、報告したいと思います。

先ほどから何度も話が出ていますが、12月1日の渋谷理事長の子どもの向き合い方の講演に、妻と一緒に参加させていただきました。妻も大変そういう話に興味があったので、誘ったら二つ返事でついてきてくれました。思っていた以上に、ハードな話というか、想像ですと、もっと入口の不登校、ひきこもりの声掛けみたいなのを想像していたのですが、行ってみて、理事長の話からしても、最初から衝撃が走ったというか、そういう話でした。この後、スマホを開いていたら、12月8日に、この渋谷理事長が闇バイトについてのインタビューをしているネット記事がGoogleの宣伝で出ていまして、そういう大人たちにはこういう話で、子供たちにはそういう闇バイトの危険性みたいな話が聞かせてもらえたらいいなと思いました。そして、最後に質問のコーナーがあったのですが、なかなかあの場でみんなが聞いてもいいような質問というのが、しにくかったので、アンケートで書く欄もあったのですが、そこに返事があるかどうかは分からなかったもので、もし返事があるのであれば、こういう質問をしたいという方がたくさんみえたと思うので、何かそういう質問ができる方法があれば、さらによかったかなと思いました。

さらに12月8日の田原市スポーツ少年大会に、保護者として参加させていただきました。スポーツ少年団は現在、少年団が561人で、ジュニアリーダーが41人。そしてシニアリーダーは、高校生大学生ですが、4人になります。スポーツの違いで特にバドミントンや剣道だとジュニアリーダーになる子たちが多いのですが、シニアリーダーになるとさらに少なくなります。私の娘が今年、シニアリーダーとして日独交流でドイツに行かせていただきまして、その報告をしました。娘

もぜひこのスポーツ少年団、本当はもっと続ければ素晴らしいものなので、後輩たちにもぜひ続けてほしいということで発表を行いました。私が所属する神戸スポーツ少年団では、シニアリーダーから指導者になった子が1人います。その選手時代は輝かしい成績ではないのですが、その子たちがそのスポーツを好きで続けることで、いい指導者になる可能性をものすごい持っていると思うので、このジュニアリーダー、シニアリーダーという枠をもう少し大切にさせていただいて、将来の指導者を増やしていけたらなと思います。現にもう1人、シニアリーダーでいた子が私の姪なのですが、岐阜の先生になる学校に通っていて、将来は学校の先生になりたいということで、今、大学生をやっています。将来、田原市に帰ってきて、教師をやってもらう子を増やすためにも、先生と指導と、近い存在のジュニアリーダー、シニアリーダーをもう少し宣伝して、将来のスポーツの強い田原市、盛んな田原市になっていけたらなと思いました。

あと、12月10日に神戸小学校の持久走大会に、これまた保護者として参加させていただきました。それまで風も強い日が多かったのですが、この日は大変、天気にも恵まれて、ちょうどいい天候で、子供たちも練習の成果を発揮して走ることができました。1年生は本当にお父さん、お母さんを探しながら走る子が多くて、微笑ましかったです。4年生になると泣く子も多く、悔し涙。6年生になると親が泣いていました。先生方にゆとりがなく、ゆとりがないというのはいい意味で、無駄がなく、校長先生が常にスターターをやって、それぞれ先生方の役割もしっかりしていて、担任の先生がカウントして、終わった子は授業に戻る。ぎりぎりになって参加するみたいな、先生に話し掛ける隙間が本当はないぐらい、無駄のない持久走大会であったと思います。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

それでは、また、これからもそれぞれの視点で、情報のほうを集めていただけたらありがたいなと思います。よろしく申し上げます。

それでは次に、報告事項の(2)田原市議会第4回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

はい。これについて私から報告させていただきます。

一般質問の説明の前に、現在、会期中でございますけれども、令和6年田原市議会第4回定例会について、触れたいと思います。

33ページを御覧ください。こちらは、令和6年田原市議会第4回定例会、提出議案等でございます。この資料は第4回定例会にて審議された議案が一覧表に入っておりますけれども、33ページの赤枠で囲ってある部分が今回、関係する議案です。こちらの議案番号が左側にあるのですけれども64と、少し下の議案番号68、そして34ページの議案

番号74が、こちらの3議案が今回教育委員会の関係議案ということでございます。全体ですけれども、次の35ページ見ていただきますと、議案数が13件ございまして、内訳が人事案件が1件、条例が7件、単行2件、補正予算が3件、13件でございます。こちらが今、審議中となっております。こちらの議案について、議案番号64と68につきましては、既に前回の教育委員会定例会で議題としておいてございまして、また先ほど議案番号74につきましては、説明をさせていただきましたので、よろしくお願いたします。

それでは、一般質問に移らせていただきまして、36ページの一般質問一覧表を御覧ください。こちらの一般質問ですけれども、10人の議員さんから通告がありまして、赤枠で囲まれた4つが教育委員会、教育部の関係質問となりました。各質問の内容については、38ページ以降の各議員さんごとの一般質問通告書をご参照いただきたいと思います。

続きますので、飛んで62ページを御覧ください。こちらですけれども、今回の4人の議員に質問をまとめた要旨となっておりますので、こちらで説明をさせていただきますと思います。

通告順で順番決まっているものですから、真野議員さんから順に説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

まず、大項目オーガニック給食の取組についてということで、小項目は学校給食におけるオーガニックの給食の取組についてということでございます。質問の要旨と初回質問として、現在は、有機給食やオーガニック給食と呼ばれるものが広がっているけれども、本市におけるオーガニック給食の導入に関しての現状と取組の方向性をお聞きしたいということでありました。

まず、本市のオーガニック給食の現状、取組を述べる前に、まず本市の給食の現状ということで報告させていただきました。本市といたしましては、栄養価を第一に、少しでも多くの田原産や、愛知県産の地元食材を利用しながら、献立の立案ですとか、物資の選定、調達等を進めているということをお話しした上で、少し説明していきまして、オーガニック給食の導入については、3つ目のポツですけれども、問題、課題としてあるものですから、野菜に比べて従来の農業と比べて、価格が割高な面であるとか、食材の安定的確保の難しさもある。また、大きさや形が不揃いで、調理に手間がかかることや、虫等の異物混入の可能性が高まると、こういった課題もありますとお答えしました上で、下の2つのポツですけれども、現在、市内の有機農法や無農薬、無施肥の自然農法に取り組んでこられた団体の方と、食材の一部を使用するような意見交換が始まっているということ。今後の方向性については、先ほど課題であったものについて、様々な視点で研究してまいりたいという答弁をしております。

次の63ページを御覧ください。2回目の答弁ですが、最初は、実はこのオーガニック給食については、いわゆる有機のJAS認証というものを取らなくてはいけないことにつきまして、給食に使用する食材を分類して、市が独自に認定しないといかというご質問をいただいております。こちらについてはいろいろと課題もあるものですから、現時点では様々な課題もあるため、難しいということをお答えしております。

次に、給食の農産物について独自認定することを含め、協議会の設置はどうか。みんなで集まって協議する場を設けてはどうかという質問であったのですが、こちらについては、現時点では考えていないのだけれども、オーガニック食材の使用についての研究をする中で探ってまいりたいという回答をしております。

次の質問については、オーガニック給食が、食材がどうしても高くなったりする面があるのですが、こうした場合、もし導入した場合、どうしても値段が上がるものですから、保護者への金銭的な負担が生じないような措置をとるべきかということ、これについては、既に学校給食については、本市では、もう小学生で20円とか中学生で40円の市が負担するという、子育て支援をしているということを説明した後、保護者負担についても検討していくという返事をしております。

次の質問は、オーガニック給食を進めていくために、生産者の皆さんの協力がいるから、いわゆる配送とか物流の仕組みを整備することについて、市はどう考えているのかということについては、市は現在で直接、生産者の方に直接納入をお願いしているものですから、そうした中ですが、オーガニック給食の可能性を探る中で、こういった問題も研究していきたいという回答をしております。

次に、次ページを御覧ください。今回4人ということで多かったのですが、辻議員の一般質問になります。GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新についてということで、大項目、小項目が同じですが、初回質問をいただきました。GIGAスクール構想の下で、こうした使用した端末につきましては、更新の際に懸念される内容を聞きたいということでした。こちらの初回答は、懸念されることとしては適正な処分がされなくて、不法投棄等が行われることや、データが消去されないと。個人情報漏洩との問題があるということをして、対応といたしましては、いわゆる小型家電リサイクル法に基づく認定事業者への処理委託について、こちら等を進めていきたいということ。また端末機は産業廃棄物であるので、法令に基づく適正な処理について取り組んでいきたいということを申し上げました。

それに対して、2回目としましては、更新に係る端末機の処分の時期はいつなのだとということで令和7年度の12月に端末の更新を行っ

て、令和8年度中に処分を行う。何台程度なのだということにつきましては、全部で児童生徒、教職員、予備機を合わせて5,200台が処分対象ということですのでということをお話しました。

次に、データ消去の適正な端末に処分に対する具体的な取組はどうかということ、事業者の処理委託を考えており、小型家電リサイクル法に基づく、認定を受けた実績のある業者さんと、情報共有を進めているということをお話しております。

次の質問としては、いわゆる再資源化にも触れられているのですが、本市における再資源化の考えはどうかということで、次のページにいきまして、こちらについても、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づくものについて検討していくということと、関係法令、規則等遵守して、適切な処理に努めますという答弁をして終わっております。

次に山上議員の一般質問についてお願いしたいと思います。ページ数でいくと、66ページになります。山上議員は、こちら今まで一問一答方式の一般質問だったのですけれども、今回は一括質問、一括答弁という形をとっております。田原市スポーツ推進計画ということで、まず、最初の質問としては、スポーツ推進計画ですけれども、令和7年度に10年ぶりに次期策定をすることになっているのだけれども、このスポーツ推進計画においての課題や、これらの取組の進捗を踏まえて、この次期の計画をどうしていくのかという質問をいただきました。初回答弁では、課題については4つあり、スポーツの機会の充実ですとか、スポーツ組織・人材の充実、スポーツ施設の整備・充実、スポーツによる地域活性化ということで、この4つについて、1点1点、市のスポーツ計画の中からこの課題について、取組の進捗についてそれぞれ答えておりますので、これについては後ほど御覧いただきたいと思っております。

次のページを御覧ください。上段の2点目のポツなのですけれども、これが次期計画なのですけれども、次期計画につきましては、これまでの取組、新たな課題を踏まえるとともに、今後の社会の動向を念頭に置いた施策を取り組み、計画を目指していきたいという答弁をしています。

2回目につきましては、本市のスポーツを取り巻く環境も3つを大きく変わっているものですから、3点の質問したいということで、再質問としての1点目としては、次期計画策定に係る市の体制。2点目として、策定のスケジュール。3点目として、新たに注目されたものですが、新しいニーズに対して、どのように取り入れていくのかという質問をいただきまして、1点目につきましては、庁内の検討会を設置して横断的に、それに対しての取組ですとか、また、専門的な人や有識者、スポーツ団体を踏まえた人たちを組織を立ち上げて意見を伺っ

ていきたい。2点目のスケジュールにつきましては、令和8年3月には策定と公表をしていきたい。3点目の市民ニーズの把握や新たに注目されたスポーツの振興、こちらについては、まず市民団体、スポーツ団体、市民スポーツ団体に対してアンケートやヒアリングを行った上で、世界の状況を踏まえながら、スポーツの多様化に向けた計画としていきたいという答弁をしております。

最後に、4人目の中村健太郎議員でございます。こちらにつきましては、一問一答方式になりますが、市内在住の外国人に関する施策について、小項目が、多文化共生ですとか、生活保護に関するものもあったのですが、教育部につきましては、外国人の子どもに対する教育支援ということでした。初回の質問の要旨といたしましては、特定技能外国人の増加に伴って、その家族の方も来ているのであるけれども、こうした場合の外国人の子どもに対して、教育支援はどうかという質問の中で、初回につきましては、小中学校では教員による1対1の個別指導ですとか、学習支援による個別指導、インターネットを活用した対面での通訳ですとか、インターネットを利用した対面での通訳活用、こういったもので支援を行っており、このような児童生徒については、日本語の学習はもとより、学校生活や日本の生活習慣についての学習が重要になるというように答えています。

2回目以降につきましては、こうした市内在住の外国人で、日本語が理解できる方を常勤として配置してはどうかということなのですが、こちらにつきましては、既に言語が話せる方をスクールサポーターとして、児童生徒の支援をお願いしております。常勤の支援員については対応できているものですから、常勤の支援員につきましては、生徒数を見ながら検討していく必要があると答えております。スクールサポーターとして、現在、雇っていることなのだけれども、具体的にどのような支援をしているのかということの中で、学校施設等の使い方ですとか、日課に沿った過ごし方とか決まり等を教えたり、日本語を指導する際の補助、こうしたものを行っているということ。また悩み事も聞いていますよとお答えしました。

次のページを御覧ください。最終ページでございますけれども、ここから趣向を変えておまして、1人1台タブレット端末が配置されているのだけれども、このタブレットを使って、通訳がいなくても学習できるようにすることはどうかということで、こういったタブレット端末を、児童、生徒が理解できる言語で使えるのはどうかという質問の中で、このタブレット端末は日本語設定になっているのですけれども、翻訳機能が使えますと。翻訳機能を学習との支援として、活用しているということで、翻訳機能の活用で対応できるということを答えております。

次の最後の質問として、こういった日本語が十分理解できないお子さんの増加に対して、今後どうしていくのかということについては、他市で取り組まれている初期支援ですとか、通訳派遣、外国人の児童生徒を集めて授業を行う国際教室の設置といった対応についても検討していくということで、ご了承いただきました。

教育長

長いですが、以上です。

はい、ありがとうございました。

では、ただいま事務局の報告がありました。何か質問はありますか。よろしいですかね。

では、ご質問もないようですので、次に（3）図書館への寄付について事務局からよろしくをお願いします。

図書館長

はい、願いたします。70ページの資料を御覧ください。

令和6年度教育関係寄附一覧の一番下の9番の項目、寄附日が令和6年11月26日、寄附者が株式会社三菱UFJ銀行田原支店様より、図書館に図書環境の充実のために、大活字本という書籍、これは普通の活字の本よりも大きな、ポイントが大きい、2倍ぐらい文字が大きく印字されている本になりまして、ご高齢の方とか視力が弱い方で小さい文字が見づらい方にとって、大変人気の本になっております。こういった大活字本157冊、金額にしますと50万円相当となりますけれども、ご寄附いただきました。現在、中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館の3館にそれぞれ振り分けまして、貸し出しを開始しております。ご報告させていただきます。

以上です。

教育長

ありがとうございます。では、ただいま事務局の説明がありましたけれども、ご質問はございますか。よろしいですかね。

では質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局から何かございますか。

はい、どうぞ。

教育総務課長

教育総務課です。

それでは、今後のスケジュールということで、資料を付けさせていただきますので、ご説明いたします。資料の71ページを御覧ください。71ページ教育委員出席日程案についてという資料を御覧ください。本日、12月13日以降のスケジュールを付けさせていただきました。本日の第12回定例会が終わりまして、1月以降、このような多くの行事がございます。大変恐縮ではございますが、よろしくお願したいと思います。

まず、1月12日の日曜日。こちら令和7年二十歳の集いが10時から田原市総合体育館で行われます。

翌週でございますが、1月18日土曜日。こちらは田原市小中学校PTA連絡協議会研究発表会・教育講演会が、13時30分から田原文化会

館文化ホールにて行われます。よろしくお願いいたします。

1月21日火曜日でございますが、教育委員会の令和7年の第1回定例会を行います。場所は北庁舎の302会議室を予定しております。この日ですが、定例会が13時30分から行いまして、終わり次第、15時30分からですが、太田委員様には大変申し訳ございませんが、奨学金受給者選考委員会を行いたいと思いますので、ご出席をお願いしたいと思っております。

1月24日ですが、この日は東三河管内教育委員代表者会議が蒲郡市民会館で13時30分から行われます。こちらは教育長さんと田中早苗委員さんをお願いしたいと思っております。その終了後、東三河管内市町村教育委員研修会が15時30分から、同じく蒲郡市民会館で行われますので、委員の皆様方のご出席をお願いしたいと思っております。

1月28日火曜日は、給食週間の招待給食ということで、この日、行いますが、教育長は別の会議で不在でございますので、田中早苗委員さんにつきましては、田原中部小学校で開催される招待給食にご出席をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

その次、2月以降ですが、2月以降は2月4日の火曜日、愛知県市町村教育委員会連合会理事会ということで、長久手市役所で14時から行われますので、田中早苗委員さんのご出席、2月13日木曜日につきましては、田原市教育委員会表彰選考委員会、こちらを15時から田原市役所301会議室で行いますので、教育長と田中智和委員のご出席をお願いしたいと思っております。

2月21日でございますが、この日は大変過密スケジュールで恐縮でございますが、東三河小中高特連携教育推進協議会、こちらが10時から東三河総合庁舎で行われますので、教育長、田中早苗委員のご出席。同日午後ですが、教育委員会第2回定例会を午後2時から政策会議室で、こちらですね。その終了後、午後4時から総合教育会議を、同じくこの政策会議室で行う予定でございますので、ご出席をお願いしたいと思っております。

3月に入りますと、3月25日火曜日には、田原市教育委員会表彰式を10時からこちらの市役所6階の講堂で行う予定でございます。同じく午後、教育委員会第3回定例会を13時30分から302会議室で行う予定としております。

また、3月31日、月曜日でございますが、教育委員会の第1回臨時会を10時から田原市役所6階の600会議室で行いまして、その日の午後、同日11時から教職員退職者辞令交付式を市役所6階の講堂で行う予定でございますので、委員の皆様方のご出席をお願いいたします。

また、こちらには記載してございませんが、その次の日、4月1日も、任用等の辞令交付式がございますので、こちらもまたご案内をさせていただきますが、よろしくお願いいたします。

次のページにつきましては、教育関連のイベントが記載のとおり開催されます。72ページになりますが、こちらにつきましても御覧いただきましてよろしくお願ひいたします。

説明は以上でございます。

教育長 はい。ただいまの説明について何か質問はございますか。よろしいですか。

学校教育課長 その他、何かございますか。はい、どうぞ。

別紙でお配りしました、小中学校卒業式への出席予定者ということで、紙で配らせていただいております。よろしくお願ひします。

先ほど教育総務課長が説明させていただきました、教育委員出席日程の中には載ってはおりません。大変申し訳ございませんでした。

3月7日金曜日、中学校の卒業式、3月19日水曜日が小学校の卒業式となっておりますので、よろしくお願ひをいたします。

それから、もう1枚、紙でこれも配布させていただきましたが、令和7年度小中学校入学式等儀式の関係でございます。赤字のところにつきましては、給食の日にちを学校には既に11月の11日に配布してあるのですが、当初より変更になっておりますので、そこが赤字にさせていただきますので、よろしくお願ひをします。

それから、最後3点目でございますが、資料等はございません。学校教育課におりますALTのオリビアさんでございますけれども、体調不良等がございまして、退職して帰国を昨日いたしましたので、ご報告させていただきます。代わりの方につきましては当面は来ないものですから、現在、1人で市内の小学校を周っていただくということで、計画しておりますのでご承知おきください。

以上です。

教育長 ありがとうございます。今の説明について、何か質問はございますか。よろしいですか。

生涯学習課長 では、その他。

すいません。生涯学習課から、教育委員さんの出席日程のところでも1点漏れておりましたのでご報告させていただきます。

教育長さんのスケジュールなのですが、来年1月25日、土曜日でございます。第18回田原市子ども会大会というものがございまして、13時30分から田原文化会館で催される予定でございます。これに教育長さんにご出席いただきますので、申し訳ございません。よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

教育長 その他は。

スポーツ課長 スポーツ課もよろしいでしょうか。

教育長 はい。では、どうぞ。

スポーツ課長 スポーツ課からは2点、よろしくお願ひいたします。

お手元に資料お配りしてもらっておりますが、12月9日に2025アイアンマン70.3東三河ジャパンイン渥美半島の大会の開催を中止するという形が決定されました。こちらの報道機関に投げ込んだものでございますが、真ん中の辺りに書いてありますが、大会開催日までに、開催に必要な諸要件を満たすことが困難であると判断となったため、大会の開催を中止することとなりました。また、内容に関するお問い合わせについては、下のほうにあります問合せ先にて、どのようなものなのか聞いていただくようになっておりますので、よろしくお願いいたします。

また、別で話題になりました、市町村対抗駅伝、通称愛知駅伝ですが、こちらの結果を載せていただきました。先ほどいろいろ話が出ましたが、森下監督としては上位3チームに入るかなという形で気合いを入れておりました。さすがに刈谷、知立は速いのが目に見えていたのですが、またこちらの選手のほうも毎週土日、合同練習、コーチのほうも名古屋、大学行っているコーチの人も来てくれたり、抜群のチームワークで練習をして、上位6位入れて入賞できたと思っております。また帰りには、みんなで声掛け合って、また来年権利があるような形の選手はまた来年来ようねとか声掛けながら、みんな笑顔で帰れたのでとてもよかった大会だったと思っております。

以上となります。

教育長

ありがとうございました。

では、今の説明について、何かございますか。よろしいですかね。

その他ございますか。

教育総務課長

ございません。

教育長

では、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。

閉 会 午後5時5分

教育長

委員

委員